



平成 24 年 12 月 26 日
内閣府（防災担当）

「国際復興フォーラム 2013 ～都市の力強い復興 防災を取り入れた復興・開発計画づくり～」の開催について

被災地の復興過程において、次の災害に備えた災害に強い社会を構築する「よりよい復興」の実現を目指して、我が国や関係国連機関等の連携により国際復興支援プラットフォーム（International Recovery Platform：IRP）が、2005 年の国連世界防災会議の成果の一つとして同年発足しました。

IRP は、関係機関の協力の下、復興優良事例などの情報提供、地域復興の助言、能力開発などの活動を行っており、この「国際復興フォーラム」も、これらの活動の一環として、発足以来毎年開催しているものです。

今回のフォーラムでは、復興計画づくりや復興事業における世界の都市の知見と経験の共有、特に都市計画や開発における防災の視点の重要性や、今後の災害に対するコミュニティーの備えに注目するとともに、最近の災害復興活動における経験及び課題について議論します。特に今年は、東日本大震災など巨大災害からの復興における教訓の活用や、2015 年以降のポスト兵庫行動枠組への反映について考えます。

- 1 日 時 平成 25 年 1 月 22 日（火）9:00～18:00
- 2 場 所 兵庫県神戸市（神戸ポートピアホテル）
- 3 主 催 IRP 事務局、内閣府、兵庫県、アジア防災センター（ADRC）、
国連国際防災戦略事務局（UNISDR）
- 4 参加者 100 人（予定） 各国政府、地方自治体、IRP 構成機関の関係者 等
- 5 会議概要
 - ・基調講演 「仙台市の復興の現状について」（奥山 恵美子 仙台市長）
 - ・復興状況報告（セント・バーナード市（フィリピン）、岩手県大船渡市、モルデヴィア）
 - ・特別報告 「都市、地方自治体における災害復興の教訓」（サン・ファン・デ・フローレス市（ホンジュラス）、イスタンブール市（トルコ）、福島県）
 - ・プレゼンテーション 「災害時における国際機関の果たす役割」（世界保健機関（WHO）、ヨーロッパ技術安全センター）
 - ・パネルディスカッション
- 6 取材について

取材は随時可能です。なお、TV カメラの撮影位置などは主催者の IRP 事務局担当者の指示に従ってください。

取材を希望される場合は、IRP 事務局宛てに事前にお問い合わせください。

IRP（International Recovery Platform・国際防災復興協力機構）事務局
担当：川脇、赤松 TEL: 078-262-6041 E-mail: info@recoveryplatform.org

<本件問い合わせ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付参事官（普及啓発・連携担当）付
井上、大江、橋詰 TEL 03-3503-9394 FAX 03-3597-9091